



お世話になった先生方からのメッセージ

いよいよ明日3月11日（金）で3年間の津幡南中学校を卒業となります。ご卒業おめでとうございます。3年間、2年間、1年間お世話になった3年生の先生方から最後のメッセージをいただきました。皆さん一人ひとりのことをとても大切に思い、がんばってきた先生方の言葉です。この言葉を心に残し、高校・高専へ行っても素敵な生徒でがんばってください。

1組担任：竹内 彰子 先生

3年前の4月。入学式の日の皆さんは、教室でもピシッと姿勢よく、一言もおしゃべりせずまっすぐこちらを見て座ってくれていました。（2年生の休校明けもそうでした。）私が忙しくて手が足りないとき、「先生！レスキュー隊です！」とかかわいらしい笑顔で手伝ってくれました。3年生になり、さすがに「レスキュー隊」という言葉は使わなくなったけれど、困った時に「やりますよ！」と、さっと手伝ってくれる優しさと温かさは変わらず、何度も助けてもらいました。皆さんのその素直さと優しさには周りの人を笑顔にするパワーがあります。新たなステップでも自信をもって進んでいってください。活躍を期待しています。卒業おめでとう！！



2組担任：中 久師 先生

あっという間の3年間いろいろなことがありましたね。楽しかったことや面白かったこと、つらかったことや楽しかったこと。今思えば本当にあっという間でした。今でも君たちが入学して1年生の教室に座って待っていたあの様子が目に浮かびます。今からそれぞれの進路を歩んでいきます。もっとももっといろいろなことが君たちを待っています。

これからの未来は君たちが決めていきます。今から必死で頑張れば何でもなれます。夢を持ってそれぞれの道に進んでいきましょう。きっと素晴らしい未来が君たちを待っています。卒業おめでとう。



3組担任：高田 大輔 先生

最近のみなさんを見ていて、自分が受検する高校を決めた時のこと、家を出て大学に入学した時のこと、現在のこの仕事を選んだ時のことを思い出す機会が多いです。人生の岐路に立っているみなさんを見て、岐路に立っていたときの自分と重ねているのでしょうか。正直、すべてにおいて自分が納得できる方向へ進めたわけではありません。後悔もあります。一方で、「これでよかった」と思う判断もありました。大いに悩み、考え、そして決めて進みましょう。進んだ先でまた悩み、考えればいいのです。よりよい自分になるために。

最後に、「人の言うとおりにしてよいこと」と「自分で決めなければならないこと」の判断を間違えないこと。「生殺与奪の権を他人に握らせるな」ってことです。



4組担任：大谷 吏穂 先生

一年生の初めの頃はローマ字を書いたりすることにも苦労していた皆さんが、今では自分の想いや考えを自由に英語で表現できるようになったことをとても誇りに思います。この3年間本当によく頑張りましたね。

四月から新たな生活が始まりますが、津幡南中で学んだことや経験を生かして活躍してください。卒業おめでとう！



5組担任：萬澤 隆貴 先生

卒業、おめでとうございます。皆さんと共に南中学校へ入り、3年間持ち上がりで関わったことが心から嬉しいです。3年間で何度も伝えてきたことですが、卒業に際し改めて伝えます。今後も変わらず大切にしてほしいことだからです。

①群れない。②日常こそ大切に。③挑戦する。（「挑戦」の先には「成功」か「学び」しかない。）

新たなステージでの活躍を心より期待しています。



青空担任：寺西 千洋 先生

ご卒業おめでとうございます。みなさんと一緒にこの学校にやってきて、早3年が過ぎました。私にとって、この3年間でみなさんとの授業が一番多く、たくさんの生徒と関わることができた学年でした。みなさんと一緒に過ごせてとても楽しい3年間でした。ありがとう。「健康第一」で、これから幸せな人生を歩んでいってください。

2・3組副担任：前多 遙佳 先生

将来の夢は、中学生の頃から教師でした。夢を叶えるために努力し続け、ようやく叶えることができました。初めてのことはばかりで戸惑うことも多かったけど、みんなの優しさ、たくましさは何度も救われました。ありがとう。みんなも夢に向かって、努力し続けてほしい。まだ夢がない人も、自分がしたいことを精一杯頑張ってもらいたい。

1年間皆さんと過ごせて、毎日幸せで楽しい日々でした。卒業おめでとう！

4・5組副担任：雨野 暉 先生

ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした日は1年間という短い時間でしたが、とても濃い時間でした。技術科の教員として授業での製作以外でも、学校祭のモザイク画製作や卒業製作としての本棚製作などたくさんの作品を仕上げることができました。どれも皆で一生懸命に取り組んでくれたから素敵なモノになりました！本当にありがとう！

1組・白鳥・青空副担任：山口 健一 先生

保護者の皆様へ

2011年3月11日に東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）が発生しました。それから8年経った2019年4月に皆様のお子様は入学しました。世間の関心は、震災よりも2020年の東京オリンピックへ移っているようにも見えました。震災後、盛り上がった反原発デモや復興、絆という文字もメディアではあまり見かけなくなってしまいました。しかし、震災を通して、世界中の人々が命の大切さを痛感しました。命があり、何不自由なく暮らせることに感謝しました。そして、震災で亡くなられた方は、さぞかし無念だったであろう、もっとやりたいことがいっぱいあったであろうと考えさせられました。私たちは、そのことを胸に抱き、授かった命に感謝し、一日一日を大切に、自分らしく精一杯生きていかなければならない。特に今の子どもたちがすべきことは、人と人との絆を大切にしながら、周りの人に感謝し、自分の目標（夢）に向かって精一杯努力していくことだと思い、学年だよりを『絆』としました。

1年生の3月からは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休校になりました。その後、多くの行事が中止や縮小されました。1番楽しみにしていた修学旅行もその1つでした。学年の職員は、1年生ではChanceの学年、2年生ではChallengeの学年、3年生ではChangeの学年へと成長させようと考えていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で生徒たちには「我慢」をさせることが多くなり、辛い思いをさせてしまいました。しかし、2年生では、新型コロナウイルス感染拡大の中「医療従事者の方々への応援メッセージ」を学年の生徒全員で書き金沢医科大学病院へ渡しに行った時や、コロナ差別をしない宣言のために学年の生徒全員で「シトラスリボン」を作った時などは、Challengeし『絆』をしっかりと考え素敵に成長（Change）してくれたのではないかと思います。



3年生になり、「シトラスリボン」を学校全体のいじめ撲滅運動につなげて後輩に作り方を指導し全生徒で作った時も、3年生の代表者3名が1年生と2年生の学年集会で「学校生活の大切さ」を語ってくれた時も、『絆』をしっかりと考え成長（Change）してくれたと思います。9月の運動会回練習では例年がない「1、2年生を3年生全員で指導」する姿がみられた時も、学校祭で学年の生徒全員でつくりあげた「モザイク画」が完成した時も『絆』をしっかりと考え成長（Change）してくれたと思います。



このように、生徒たちは、勉強も、部活動も、生徒会活動も、様々な学校生活で、それぞれが精一杯頑張った『絆』を感じ成長（Change）することができたことは、家族の温かい支えがあったからこそです。思春期真只中の中学校時代は、さぞかし大変だったことと思います。しかし、この3年間でどの子も素敵に成長（Change）してくれました。時には素直になれなかったこともあったでしょうが、今後はこの素敵な成長（Change）をさらなる成長（Change）へと進化することを信じ、見守ってあげてほしいと思います。

入学式に緊張して入場し、かわいい声で「はい」と返事をしていたことが、昨日のこのように思いうかびます。あれから3年、『絆』をしっかりと考え成長（Change）し、大人に近づいた立派な姿を、明日の卒業式で見せてくれることを期待しています。

これまで、あらゆる面で、学校にご協力いただいたこと、心から感謝しております。本当にありがとうございました。皆様のご多幸をお祈りいたします。

感謝